

■ランプ寿命について

- 一本でもランプの寿命がくると保護回路がはたきすべてのランプが消灯します。
残りのランプも寿命をむかえておりますので、電源を切つてすみやかに、すべてのランプを交換してください。

■故障ではありません

- 車場など、周囲温度が低いとき、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 点灯中や消灯直後、プラスチックの枠がわり、"ピシッピシッ"、"ポツポツ"という摩擦音を生じることがあります。
- ランプが点灯するとき、ランプ先端部が赤く発光することがあります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されると雑音が入る場合があります。
雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
- 器具交換の目安は、使用環境により異なりますが約8～10年です。
- 器具の停電などで明るさが切り替わったり、切り替えができなくなったりする場合があります。その場合は、壁スイッチ等で1度消灯すると正常動作に戻ります。長時間お使いにならない場合は、壁スイッチでの消灯をお願いたします。

■お手入れのしかた

- 器具が生やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落とすように、丸がけをしない場合は、濡らいたる石けん水で洗ってよくしぼったのちふき取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- 石けんとは天然由来の原料としたものです。
(商品表示が"石けん"であることを確認してください。)

⚠️ 注意

- ランプ交換、お手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 組み立て時、ペンチン・合成洗剤・化学物質などでいたり熱湯や殺虫剤をかけたいてください。
熱、傷、変色および落下によるけがの原因となります。

■ランプの交換

- ランプの蓋部が歪んだり、曲くなりましたら早めに交換してください。
ランプ交換の際は、適合ランプをお求めください。

■仕様

器具	定格電源電圧	電源周波数	消費電力	適合	ランプ
72W形	A C 100V	50/60Hz共用	61.5W	FCL40/38	FCL32/30
					保安球 100W5W

■お客様メモ

購入年月日 年 月 日

器具形式

日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2 電話(03)3253-5256

取扱説明書

保存用

日立蛍光灯器具

シーリングライト ICインバーター 72W形

HITACHI
Inspire the Next

●お客様へ

お買い上げありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この説明書をよくお読みください。
本書は必ず保存してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

●工事店様へ

■安全上のご注意



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

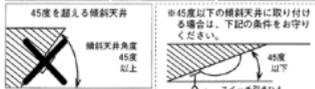
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。



警告

●次のような、場所には取り付けないでください。

この器具は天井取付専用です。
指定以外の場所には器具が取り付かない場合や、取り付いた場合でも火災・感電・落下してけがの原因となります。



●次のような、配線器具には取り付けないでください。

火災・感電・落下してけがの原因となります。
次のような場合は配線器具の交換を電気工事店に依頼してください。(※素人施工は法律で禁止されています。)



●器具を分解や改造したり、部品を変更しないでください。

火災・感電・落下してけがの原因となります。

●紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置かないでください。

火災の原因となります。



注意

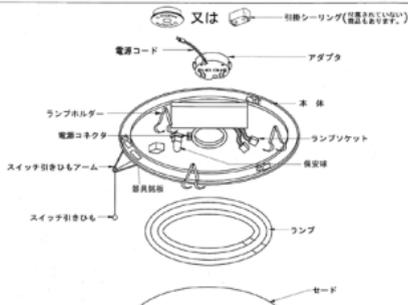
- 屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。
この器具は非防水の器具となります。
- 温度の高い場所では使用しないでください。
暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは使用しないでください。火災の原因となります。この器具は0～35℃の温度範囲で使用するように設計されています。
- スイッチ引きひもを強く引いたり、引きひもに衝撃を与えないでください。
器具の落下によるけがの原因となります。
- 器具にボールなどをのぶをつけてたり、衝撃を与えないでください。
器具の落下によるけがの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常なくても内部の劣化が進行しています。
点検・交換をお願いします。
- 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 誤挿せに長時間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。
- 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具にさわらないでください。
高温になっています。やけどの原因となります。
- 交流100V以外の電圧で使用しないでください。
定格電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
- 蛍光管が取り付けられている配線で使用しないでください。
火災の原因となります。
- 器具の材質や構造によっては、天井部が変色する場合があります。



※異常が生じた場合は、電源を切つて、お買い上げの販売店(工事店)に、器具の形式(器具銘板に表示されています)。現象を連絡の上、ご連絡ください。

■各部のなまえ

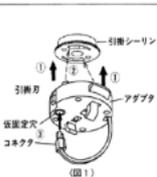
・この取扱説明書は同種類の器具と共通となっておりますので、お家の器具と異なっている場合があります。



- インバーター
- 虫の入りにくい構造

■器具の取り付けかた

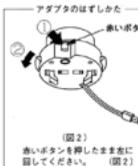
1. 天井の引掛シーリングにアダプタを取り付けてください。



- ①引掛シーリングへ二本の引掛フックを挿入します。(図1)
- ②「カチ」と音がするまで左に回します。(図1)
- ③電源コードを器具取込穴に挿入します。(図1)

△注意

高いボタンを押さずに空に回し、外れないことを確認してください。
アダプタの取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。



- ①高いボタンを押さず、まっすぐに回してください。(図2)
- ②高いボタンを押さず、まっすぐに回してください。(図2)

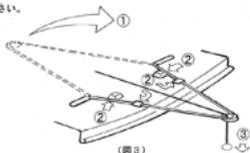
2. スイッチ引きひもアームをセットしてください。

- ①本体内部にセットされているアームを外側に折りかえしてください。
- ②折りかえし後、アームをつまんでアーム引掛ボルトに確実に引っ掛けください。

△注意

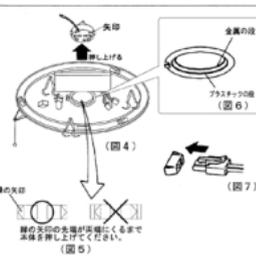
アーム引掛ボルトにアームが引っ掛からないまま操作するとセードが落下してけがの原因となります。

- ③引きひもを引く連動に操作が出来ることを確認してください。



(図3)

3. 本体を取り付けてください。



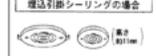
△警告 取り付けが不完全ですと、落下してけがの原因となります。

注 器具本体裏のスポンジは、梱包材ではありません。ほがさないでください。(天井面に器具を取り付けるための緩衝材です。)

- ①本体の中央部分を手で支え、アダプタとの位置をあわせて本体をまっすぐに押し上げます。(図4)
- ②本体固定時、アダプタ矢印の先端が図線にくるまで押し上げて下さい。(図5)

HS CS310シーリングローゼットに搭載の引掛シーリングに適合できます。

電圧引掛シーリングの場合



1 段階押し上げてアダプタのツメを(図6)の金属の段に取り付けてください。(図6)

高さ約25mm
2 段階押し上げてアダプタのツメを(図6)のプラスチックの段に取り付けてください。(図6)

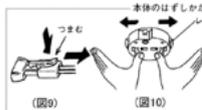
- ③アダプタコードのコネクタを電源コネクタに差し込みます。抜かないことを確認して下さい。(図7)

本体を取り付けた後、

本体が固定しない場合は、図8のロックアウトを利用してネジで締めてください。



(図8)



(図9)

本体のほずしかた アダプタのコネクタを電源コネクタからはずします。コネクタをつまみながら引き抜いてください。(図9)

△注意

電線やコネクタをむりやり引っぱらないでください。電線が断線し感電、感電の原因となります。

両手で本体を上にして押しながら中央にあるアダプタ矢印を片側にひらけ本体をはずしてください。(図10)

△注意

本体は必ず両手でやさしくおさえないがはずしてください。本体をおさえないで本体をはずすと本体が落下してけがの原因となります。

4. ランプを取り付けてください。

- ①本体に径の小さいランプから順に取り付けます。(図11)
- ②ランプをランプソケットの位置に合わせてランプホルダーにランプを取り付けます。(図11)
- ③ランプホルダーをランプの表側に合わせて取り付けます。

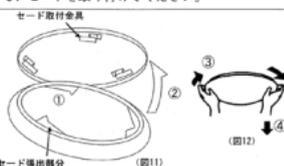
ランプのほずしかた
ランプ環の大きいランプから外してください。

△注意

ランプをソケットの裏面に合わせ確実に取り付けください。

取り付けが不十分ですと、点灯しなかったり火災の原因となります。
ランプが破損し、けがの原因となります。
ランプの自重を確実に支えています。ランプが破損し、けがの原因となります。

5. セードを取り付けてください。



セード取付金具

セード取付金具

セード

セードのほずしかた

- ①セードの突出部分をセード取付金具とセード取付金具の間
- にセットしてください。(図11)
- ②セードを押し上げます。(図11)
- ③「カチ」と音がするまで、セードを右に回してください。(図12)
- ④セードを軽く引っぱって外れないことを確認してください。(図12)

△警告

セードを本体に確実に取り付けてください。全てのセード取付金具にセードが取り付けられたことを確認してください。取付が不十分ですと、落下してけがの原因となります。

セードのほずしかた

「カチ」と音がするまで、セードを左に回してください。

■器具の使いかた

スイッチ引きひも操作による点灯順序



※プルスイッチ操作を行う際、本体のガタつきが気になるときは後面のネジで本体を固定してください。また、プルスイッチ操作を行う際、引き紐がセードに当たらないように真下に引いてください。